

# 未来のモビリティを支える 基盤数理

参加費  
無料

2020年4月からの6年間、京都大学を中心とした  
数理・情報学の研究者とトヨタ自動車未来創生センターが連携し、  
「未来のモビリティ社会実現のための基盤数理」をテーマに  
研究に取り組んできました。  
本シンポジウムでは、これまでの研究活動を振り返り、  
今後の展望について議論します。



日時

2026年3月16日（月）

13：00開始（12：30 開場）

会場

ミッドランドホール

名古屋市中村区名駅四丁目7番1号  
ミッドランドスクエア オフィスタワー5F

定員

対面…100名

ウェビナー…200名



申込み

QRコード

もしくはURLよりお申し込みください

<https://peatix.com/event/4823612>



申込締切 3月9日まで

共催

トヨタ自動車 未来創生センター

京都大学 モビリティ基盤数理研究ラボ・京都大学 成長戦略本部

# PROGRAM

※プログラムは予告なく変更される場合がございます

| time        | ミッドランドホール（ハイブリッド）  |  |  |
|-------------|--|--|--|
| 12:30       | 開場   |  |  |
| 13:00-13:05 | 開会のあいさつ<br>トヨタ自動車 未来創生センター 谷口 真  |  |  |
| 13:05-13:20 | モビリティ基盤数理について<br>京都大学 情報学研究科 山下 信雄   |  |  |
| 13:20-13:50 | 『モビリティデータ解析に向けたテンソルネットワーク技術の応用例』<br>京都大学 情報学研究科 原田 健自  |  |  |
| 13:50-14:20 | 『バスルート最適化のための機械学習技術』<br>奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域 池田 和司   |  |  |
| 14:20-14:50 | 『カーシェアリングサービスのためのシステム数理的アプローチ』<br>大阪大学 基礎工学研究科 櫻間 一徳<br>小林 勇斗  |  |  |
| 15:05-15:35 | 『みんなが納得できる割当て：公平性と効率性の視点から』<br>京都大学 数理解析研究所 牧野 和久  |  |  |
| 15:35-16:05 | 『移動ロボット、EVに関する時系列データ分析の研究』<br>トヨタ自動車 未来創生センター 伊達 裕史  |  |  |
| 16:20-17:00 | パネルディスカッション<br>『産学共創による未来のモビリティを支える基盤数理の研究』<br>〈ファシリテーター〉 トヨタ自動車 未来創生センター 谷口 真<br>〈パネリスト〉 フリーランス(自動運転・ロボット事業化支援) 坂上 義秋<br>トヨタ自動車 未来創生センター 小田島 正<br>研究統括 山下 信雄<br>アルゴリズム理論チーム 牧野 和久<br>機械学習チーム 池田 和司<br>制御と連続最適化チーム 櫻間 一徳 |  |  |
| 17:00-17:05 | 閉会のあいさつ<br>京都大学 数理解析研究所 牧野 和久  |  |  |

お問合せ

京都大学 モビリティ基盤数理研究ラボ事務局  
<https://mobility.amp.i.kyoto-u.ac.jp/>

✉ [amsms.office@amp.i.kyoto-u.ac.jp](mailto:amsms.office@amp.i.kyoto-u.ac.jp)